

## 2学期終業式学校長式辞

今日は2学期を終え、2024年を締めくくる大切な日でもあります。皆さんにとって、2024年はどんな1年でしたか？1年前の今頃を思い出すと、それぞれに新たな出会いや出来事を重ねて成長してきたことに気付くことでしょう。

少しの間、静かに目を閉じてください。

この1年間を振り返って、学校内、学校外にかかわらず、自分に関わってくれた人を思いつく限り思い浮かべてみてください。家族や友だち、先生方、いろいろな顔が浮かぶことでしょう。

では、その中で、「この1年ありがとう」と感謝の気持ちを伝えておきたい人は誰でしょうか。思い浮かべてみてください。はい、目を開けて下さい。

私が真っ先に目に浮かんだのは、富中の生徒のみなさんです。たとえ一人だったとしても、感謝を伝えたい人がいること、そして「ありがとう」と伝えたいぐらい自分に関わって下さる人がいること、それだけで、みなさんは幸せの中にいます。

「ありがとう」は伝えられた人はもちろんのこと、伝えた自分自身も幸せな気持ちになる最高のプレゼントです。2024年の終わりに、ぜひ、心を込めて「ありがとう」と言葉にして伝えて、自分も周りの人も幸せな気持ちで新たな年を迎えてほしいと願っています。

さて、9月4日に始まった2学期も、今日が最終日となります。振り返ると2学期のスタートは、暑さを吹き飛ばす勢いで、最高に盛り上がった文化祭でした。今でも、各学年のパフォーマンスが鮮やかに目に浮かんできます。

そして3年生にとっては最後の、1年生にとっては初めてのバス遠足。みんなで満喫しましたね。歌声が体育館いっぱいに広がった、感動の合唱コンクール、ヒッピーさんの最高の生ライブ。あの一体感と迫力のステージは、一生忘れられない時間となりました。

ちよんさんと一緒に、ウェルビーイングな学校になるための大作戦について考えた1・2年生のファシリテーション講座。そして、生徒会を中心にスタートした生徒主体の校則見直し。

行事があるたび、心がふるえる感動やドラマが生まれ、1年生も、2年生も、そして3年生も一步一步前に進んできました。その感動の場面に一緒に立ち会えたことを心から幸せだと感じます。本当にありがとう！

3年生は「卒業プロジェクト」のスタートに当たり、幸せ(Well-being)について一緒に考えましたね。皆さんが書いてくれた感想文を一人一人大事に読ませてもらいました。それぞれの決意やまっすぐな思いが伝わってきて胸が熱くなりました。

3年生のみなさんは、これまで以上に「自分と向き合う」冬休みとなります。どうか、自分にやれることはやると胸を張れる、そんな冬休みにしてほしいと願います。それは、誰かと比べるものではなく、自分らしく幸せな道を歩んでいくための挑戦です。1人1人のチャレンジに心からエールを送ります。

・2年生は特に2学期後半から、自分の進路を意識して、勉強や部活に対する姿勢が真剣で、とても前向きになってきたと感心しています。さすが、チームワークが良くて頼りになる2年生です。

将来を見据え、様々な職業を調べて素晴らしいプレゼンも完成させてくれました。いよいよ来年は、最上級生です。さらに大きな力を発揮できるようにしっかり準備をしていきましょう。

・1年生は、心も身体もぐんと成長しました。何事にも積極的に取り組む姿勢が、本当に素晴らしいと感心しています。2学期はタブレットを活用したホワイトボードミーティングにチャレンジしてくれました。

ちよんさんが、1年生のみなさんの姿を見て、聴き合える、教え合える姿に心から感動されていました。心優しい1年生の、これからの成長が、ますます楽しみです。

どの学年の皆さんも、新たな年を迎えるにあたり、今年の自分はどうか静かに振り返りながら、こんな自分になりたいと思う姿をしっかりと思い描いてほしいと思います。

それでは、新たな年、2025年の始業式に、みなさんと笑顔で会えることを楽しみにしています。これで私からのあいさつを終わります。